

まちを探検 NJ日本人学校



ニュージャージー日本人学校(児童生徒数49人、白井治久校長)1・2年生の児童14人が生活科のリッジウッドへの「まちたんけん」の学習を終了した。「探検」の発見を家族宛に手紙にし、9日学校近くのポストに自分の手で投函した。

「Jマートとリッジウッド公共図書館の職員にインタビュー。2つ目は、郵便局で切手を買うこと。3つ目は、人の安全を支えるものの発見。仕事にもかわらぬ、丁寧な答えも多かったり、切手を一人ひとりに手渡してもらったり、日本

の本を紹介してもらった
り、多くの人の協力を得て
目標を達成した。ESLで
学んだ英語を活用したりし
て、一人ひとりの力になる
活動をする事ができた。

STUDENT LIFE

週刊NY生活・アメリカの学校紹介と学生ライフのページ

1学期終業式の後、
浴衣に着替えて恒例の
夏祭りを楽しんだ日本の
夏風情を味わうNJ
日本人学校の児童たち



ニュージャージー日本人学校 1学期終業式 午後から楽しい夏祭り

ニュージャージー日本人学校(白井治久校長)は10日に終業式を行った。白井校長は、世界一の学校にするために、児童生徒に取り組んでほしい3つのこと、「先にあいさつをする」「背筋を伸ばす」「ゴミ



生徒に話す白井校長

を見つけたら率先して拾う」について話した。各学年代表者9人は「1学期頑張ったこと」を発表した。目標をもつて取り組む自分ができるようになったこと、人のよいところから学んだこと、行事での自分の思いと共にとのよう成長できたかなどを、具体的に述べた。多くの児童生徒にとって大変参考になる発表であった。午後からは、保護者会主催の「夏祭り」で大いに楽しんだ。